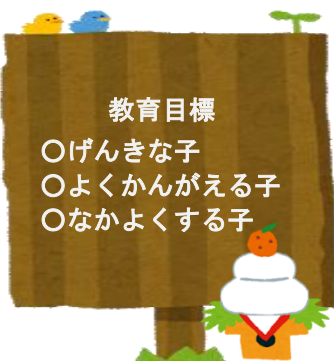


教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NANZAN Kindergarten



1月園だより

〒106-0046
港区元麻布 3-8-15
平成31年1月8日

【今年は亥年】

あけましておめでとう
ございます。



陽の光をたくさん浴びて
芽を出してきたヒヤシンス



土の中で寒い冬を過ごし、春
に花を咲かせるチューリップ
の球根



心に響く温かい言葉

園長 こくぼ とくこ 小久保 篤子

皆様におかれましては、気持ちを新たに亥年を迎えられたことと思いま
す。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、子どもたちは、2学期末にこまを持ち帰りました。冬休み中、ご
家庭では楽しむことができたでしょうか。日本には、こまのほかに、かる
たやすごろくといった日本の伝統文化である正月遊びがあります。家族で
遊ぶよい機会ですので、この季節ならではの遊びを十分に楽しんでほしい
と思います。

「三日坊主も10回やれば30日」

「やるときはやる。やらないときはやらない」

「手のひらにいつも明日」

…これは、かるたの読み札ではありません。これは、詩人の工藤直子さ
んが、自身のこれまでの人生で「これで乗りきった」という自作のおまじ
ないの言葉です。少ない言葉の中にユーモアがあり、自然に笑みがこぼれ
安心感を覚える表現です。そして、工藤さんが「みんなにだってあるじゃ
ない？」と笑って言う姿に、なぜか相手に喜びや元気、勇気を与えてくれ
る言葉になっているから魅力的です。

私たちの身の回りにはたくさんの言葉、文字があふれています。大人が
心に響く言葉にふれたときに感じるように、子どもたちにとって、身近な
人とかわす会話の中で「だいじょうぶだよ」と優しい言葉や「がんばった
ね」「自分で考えたのね」など、勇気づけられる言葉は、子どもたちの意欲
を引き上げる大きな力があります。

子どもたちが、小学校入学、進級に向けて、大きな一歩を力強く踏み出
せるように、私たち教職員も保護者も一緒に、子どもたちの成長を後押し
する心に響く温かい言葉をかけ合えるようにしていきましょう。

